



翠したたる 大津山



学校だよりのタイトルは、学校の宝物である校歌からの抜粋で「翠したたる大津山」とさせていただきます。

文責 前田 洋志

授業参観・学級懇談会・資源回収

「協力いただきまして、ありがとうございます」

7月2日(金)は、夏休み前の授業参観を行いました。熱中症と新型コロナウイルス感染症の2つに十分注意しながら行いましたが、保護者の皆様が距離をとって参観されたり譲り合っていたりなどのご協力もあり、無事に終えることができました。



7月4日(日)は資源回収でした。大雨の予報が出ていたこともあり、どうやら実施できるかをPTA会長の平山さんと予報が変わるたび検討しました。新型コロナウイルス感染症対策として、回収方法は時間差にし、回収場所は一方通行にする等の計画を立てました。すると当日は、雨もほとんどなくスムーズにできました。協力いただいた全ての方、そしてお世話いただいたPTA運営委員、地区委員の方々、本当にありがとうございました。

研究授業、頑張っています!!

子どもたちに「どのように教えたら子どもたちがしっかり学べるか」は、教師の最大のテーマです。資料はどの

ように準備し、どう提示したらよいか、子どもへの問いかけは何と言った

ら伝わるかなど、実は、かなりつつこんで私たちは授業研究を行います。



まず6月30日(水)に5年生で、7月16日(金)に3年生で研究授業を行いました。5年生は道徳「自由と責任」の学習でした。とてもいい意見を発表していましたので、それを実行できることを期待しています。

3年生は算数割り算の問題でした。タブレット活用の有効性についても検討しました。子どもたちのしっかり学んでいる姿がよかったです。



歴史にふれたー通学学習

6月28日(月)は、町教委主催の通学学習の日でした。6年生が参加し、人權学習や史跡について現地学習を行いました。南関城や豊前街道南関御茶屋があったことは、歴史を身近に感じ



させますね。大名や篤姫も立ち寄ったとか

。北原白秋生家も訪れました。郷土を誇りに思うことができる学習でした。



学校応援、ありがとうございます!!

学校には町職員の方をはじめ、様々な応援の方々が来て下さっています。3年の播種の際は、まるみやの福永さん、水泳サポートには前田さんのおかげで、しっかり学ぶことができました。地域のみなさん、いつもありがとうございます。



タブレット活用を推進していきます。

一人一台のタブレットがそろいました。機種やソフトによってできることが異なりますので、今後は、どう活用していくかが求められています。夏休みは、学年によっては家庭持ち帰りとなります。大切にそして、よい使い方をしてほしいと願っています。(裏面もご覧下さい。)

白秋コーナー

関外目に、北原白秋の母方の実家があります。白秋は、そこによく遊びにきていたそうです。

ひとつのことば

北原白秋

ひとつのことばでけんかして
ひとつのことばでなかなかおり
ひとつのことばで頭が下がり
ひとつのことばで心が痛む
ひとつのことばで楽しく笑い
ひとつのことばで泣かされる
ひとつのことばはそれぞれに
ひとつの心をもっている
きれいなことばはきれいな心
やさしいことばはやさしい心
ひとつのことばを大切に
ひとつのことばを美しく

南関町の豊かな自然の中で、白秋の感性が磨かれていきました。白秋の詩にも、その感性の豊かさを感じるものがあります。

「ひとつのことば」という詩は、私たち大人も考えさせられますね。自分がかつてしていることばをもう一度見直して、「大切に」つかいたいし、「美しく」ありたいと思います。

次の詩には、地名が出ています。きっと、南関町の母方の実家(旧石井家)を思い浮かべての詩だと思われ



旧石井家（白秋生家）

春霞 関の外目は
はくれんの
はなざかりかな
母の玉名は



6年生は通学学習で旧石井家を見学しました。

母の里
外目の夏は 月夜には
笛おもしろく
子ら吹き立てぬ